

## 2019政策フォーラム③

### 第1セッション：職場現実を出発点とした、安全確立に向けて

○指導・教育体制はどうあるべきか

八王子地本:政策フォーラムプロジェクト

安全・サービスレベルの向上を目指し、各系統のプロを創り出すための指導・教育体制がどうあるべきか、どのような人が担うべきかを明確にし、組織として創り出します。また特情者についても切り捨てるのではなく、安心して働ける環境を創り出します。

乗務員職場は「指導員の指定」があるが・・・  
他の職種は指導体制が明確になっていない。

○常磐線全線再開間近に迫る！

～働く労働者と乗客の健康を考える～

水戸地本：いわき運輸区分会

2019年度末の常磐線全線開通が間近に迫っていますが、現在不通区間となっている富岡～浪江間は福島第一原子力発電所に最も近い区間です。事故当時から比較すると空間線量率は低減したものの、大野～双葉間の一部で最大 $2.3\mu\text{Sv/h}$ (2019年6月時点)もあることが団体交渉で明らかになりました。しかし一方で、当該線区を担う原ノ町運輸区の具体的な業務量や安全確保に向けた会社の考え方が示されず、運転再開に向けた要員確保だけが進められています。常磐線の全線運転再開をするにあたっては、放射能からの不安をこれまで以上に取り除くことが重要と考え提言します。

当該線区の鉄道用地だけ線量が低い・・・  
津波発生時の避難は？そのための安全対策は？

東日本大震災の爪痕はまだ残っています。  
本当に職場や地域が安全かどうか振り返り教訓化しなければなりません。

④へ続く